

新城市

人口ビジョン

および

まち・ひと・しごと創生総合戦略

概要版

まちの創生



ひとの創生



しごとの創生



「まちの創生」・「ひとの創生」・「しごとの創生」の好循環を確立し、
新城市の地方創生を目指します！

新城市の地方創生

新城市が考える“しんしろ創生”とは・・・

- ・「近隣の地域全体が互いに支え合い、関わり合い、切磋琢磨するとともに、新城市に居住する人々が住みやすい・働きやすい・子育てしやすいと思える暮らし環境を整え、安心して心豊かに暮らすことができるまちをつくる」こと
- ・「年齢・性別・障がい・国籍などを超えて全ての人がそれぞれの多様な価値観や生き方を尊重し許容しながらも、自ら主体的に考え、学ぶことで、地域を磨く“人材(財)”となり、新たな価値を創造し、豊かな地域社会を形成する」こと

1 新都市人口ビジョン

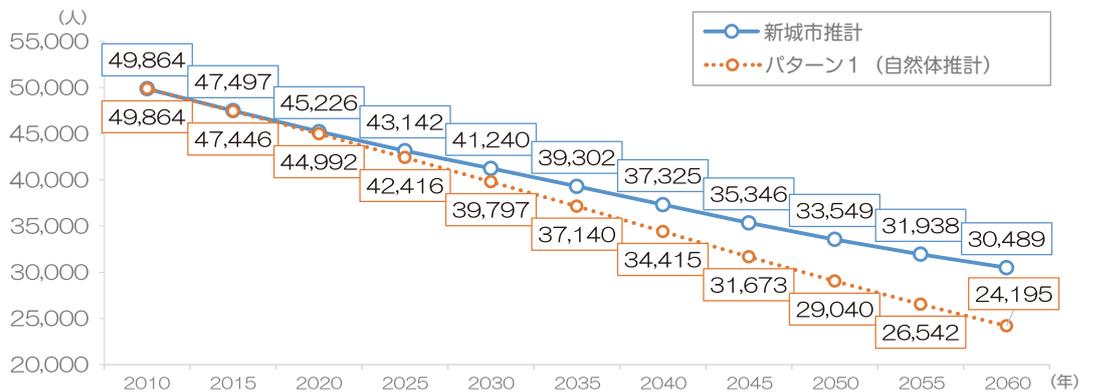
「新都市人口ビジョン」は、本市における人口の現状分析を行い、人口減少問題について私たち市民が認識の共有をすること、また、目指すべき将来の方向を提示することを目的としています。

1 新都市の人口

新都市の人口は、1985年の54,965人をピークに人口減少に転じ、2010年には49,864人にまで減少しています。

国立社会保障・人口問題研究所が推計したパターン1（自然体推計）によると、今後人口変動が自然体で推移した場合、2060年には24,195人に減少すると推計しています。ただし、合計特殊出生率を2040年に2.07まで向上させ、移動量の多い44歳以下の転出入の割合を2030年までに均衡させることで、2060年の人口は31,000人程度を維持することができま（新都市推計）。

人口推計値の比較



パターン1 (自然体推計)



新都市推計

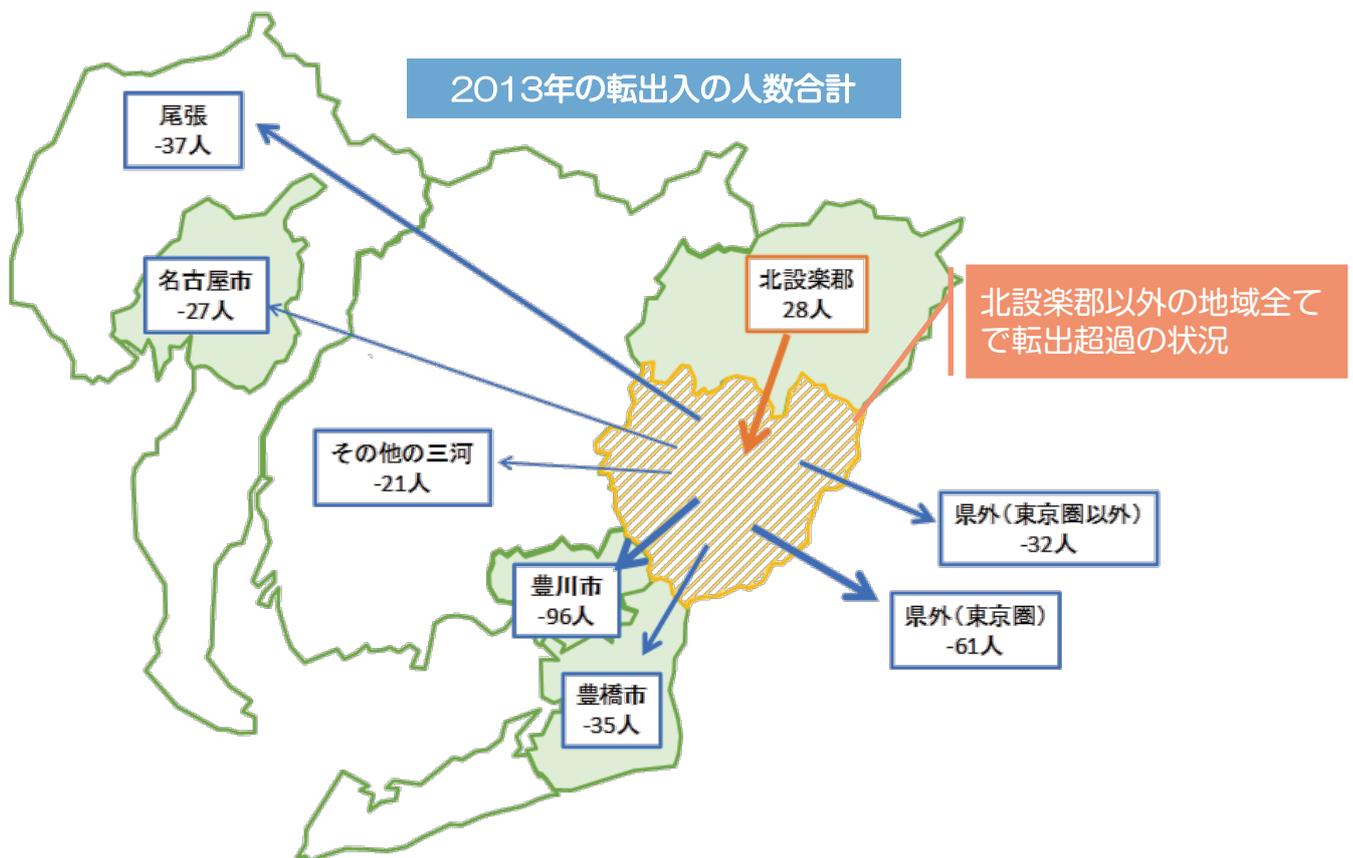
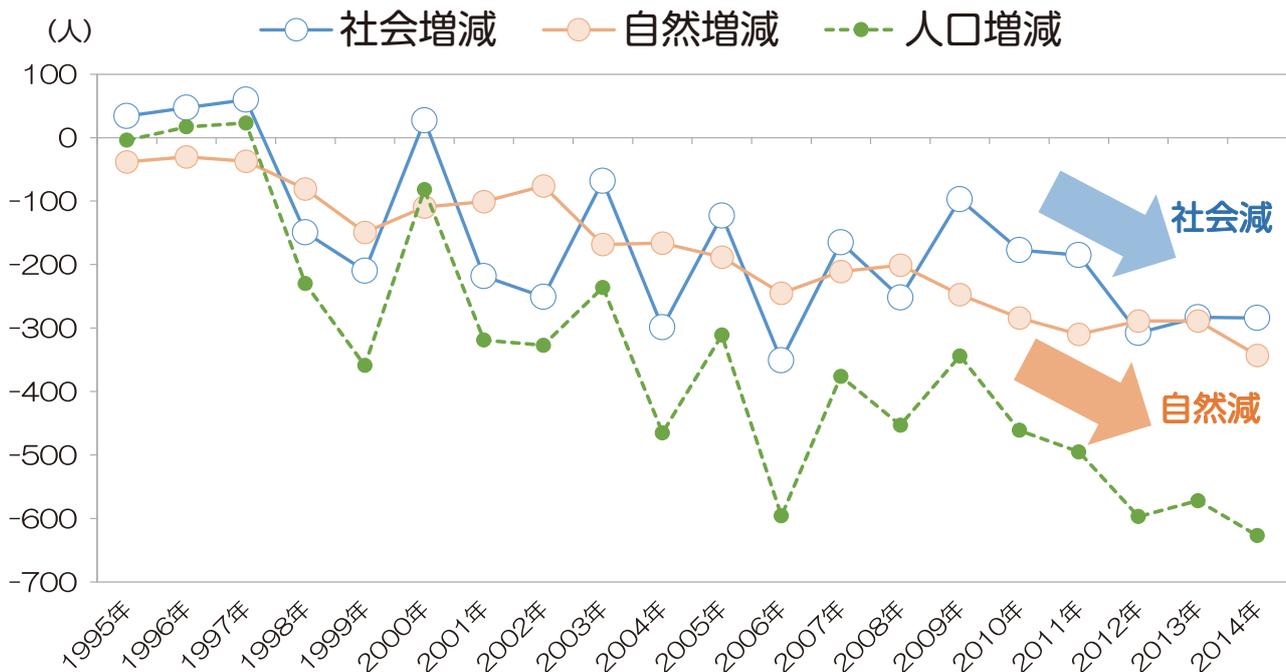


2

人口減少の要因

新城市は、1998年以降自然増減（出生者数・死亡者数の差）の減少幅が徐々に拡大しています。これは少子高齢化の進行により、死亡数が増加し、出生数が減少しているためです。

また、社会増減（転入数・転出数の差）は、2001年以降変動はあるものの、減少幅が拡大しています。エリア別の社会増減をみると、北設楽郡からは転入超過、そのほかのエリアは転出超過となっています。豊川市への人口移動が最も大きくなっています。



1. 新城市の地方創生“しんしろ創生”とは

人口の捉え方

人口は、一定の地域や一国に住む人の数のことを言いますが、地域において人口を捉える際には、市内に居住する人のみを指すのではなく、結婚や職業上の理由により移り住む人、未来に生まれる子ども、あるいは過去に住んでいた地域での文化的活動や奉仕活動に訪れる人、通勤・通学者、観光客など、新城市に関わる人々を含めて考えていく必要があります。

“しんしろ創生”の考え方

- ・ 住みやすい・働きやすい・子育てしやすいと思える暮らし環境を整え、安心して心豊かに暮らすことができるまちをつくる
- ・ 自ら主体的に考え、学ぶことで、地域を磨く“人材(財)”となり、新たな価値を創造し、豊かな地域社会を形成する

将来人口推計から分かるように、新城市の人口は今後急速に減少していきます。これは新城市だけではなく、日本全体が直面している課題です。この現実を私たち市民がしっかりと認識した上で、地方創生に取り組んでいかなければなりません。

新城市が考える地方創生“しんしろ創生”は、単に人口増加を目的とするのではなく、近隣の地域全体が互いに支え合い、関わり合い、切磋琢磨するとともに、新城市に居住する人々が住みやすい・働きやすい・子育てしやすいと思える暮らし環境を整え、安心して心豊かに暮らすことができるまちをつくること。そして、年齢・性別・障がい・国籍などを超えて全ての人がそれぞれの多様な価値観や生き方を尊重し許容しながらも、自ら主体的に考え、学ぶことで、地域を磨く“人材(財)”となり、新たな価値を創造し、豊かな地域社会を形成することです。

この考え方に基づいて、人が、地域が輝き、魅力あふれる新城市を目指します。

2. 将来の方向

本市は、人口ピラミッドを現在の少子高齢の「つぼ型」から、2060年の段階で「平準化（各年齢の人口数の均衡を図る）」させることを目指します。

“しんしろ創生”の考え方に基づき取り組むことで、人口の安定が期待できるバランスのとれた「釣鐘型」の年齢構成への転換を図ります。

住みやすい・働きやすい・子育てしやすいと思える暮らし環境を整え、安心して心豊かに暮らすことができるまちをつくる

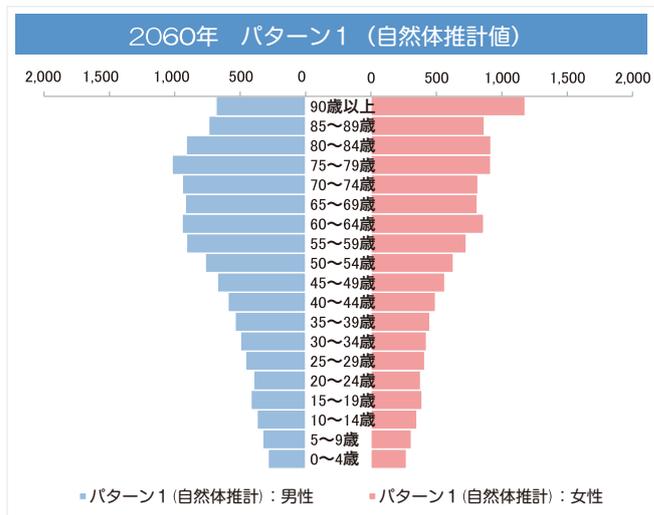
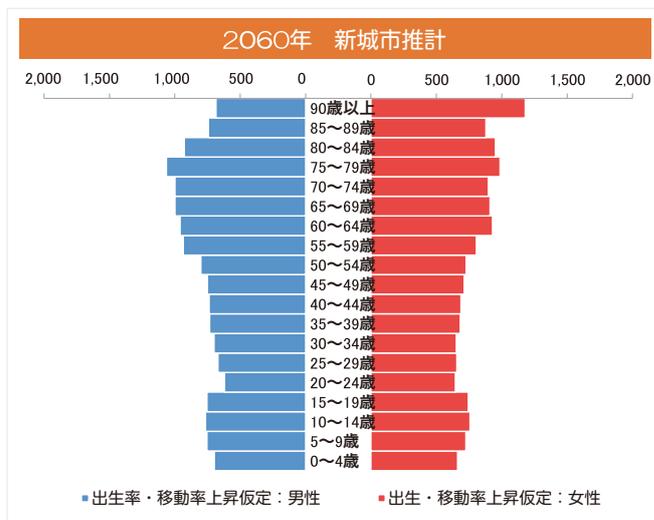
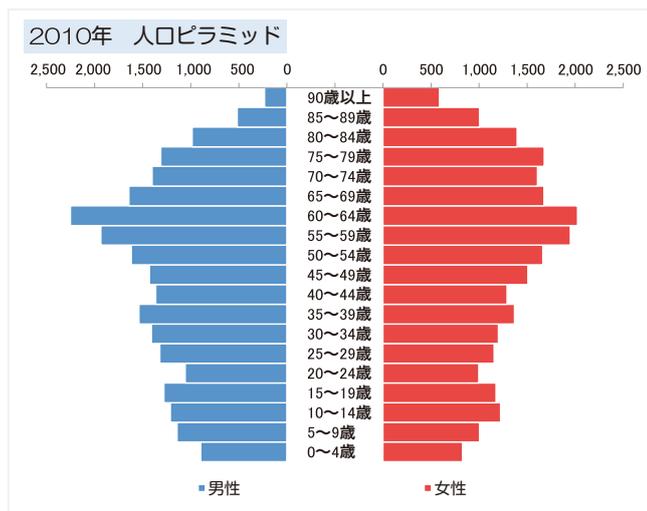
自ら主体的に考え、学ぶことで、地域を磨く“人材（財）”となり、新たな価値を創造し、豊かな地域社会を形成する

人が、地域が輝き、魅力的になる

人口流出入が均衡する・合計特殊出生率が向上する

バランスのとれた年齢構成への転換が叶う

出生率の向上・移動率が均衡すれば、バランスのとれた年齢構成への転換が叶う



自然体で推移すると、少子化・高齢化がさらにすすむ

3. “しんしろ創生”に向けた課題認識

5ページの将来の方向を目指すにあたり、本市の現状は以下のような課題があると考えています。

自然減・少子高齢化への対応

- ・産み育てやすい環境、社会づくり
- ・子どもが安心して遊べる場所の整備、医療体制の整備など
- ・結婚しやすい環境づくり
- ・高齢化に伴う地域課題は「人と人とのつながり」を最大の資源にして取り組む
- ・人口減少・少子化を抑制するとともに、高齢者がいつまでも豊かで健康な生活と長寿を享受できる健康長寿社会の実現

社会減への対応

- ・「住み続けたい」「故郷に戻りたい」「新都市に移住したい」と思う人の願いを叶える条件の整備
- ・交通・買い物など生活の不便さの解消

人材育成の必要性

- ・人口減少下では、一人ひとりの力が重要となるため、“人材（財）”育成が必要不可欠
- ・地域の特色を生かした魅力ある学校教育や社会教育の展開により、教育力を高める

労働力人口の確保・経済規模の拡大

- ・全ての人々が活躍できる雇用・就業環境の整備による労働力人口の確保。特に女性の起業支援や働きやすい就業環境の整備
- ・新都市地域産業総合振興条例を推進する。経済規模を拡大させ活力ある地域社会を創生する



**これらの課題の解決に向けて、
2019年度までを最初の5カ年の計画として
「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、“しんしろ創生”を目指して
施策を展開していきます！**



2

新城市まち・ひと・しごと創生総合戦略

1

“しんしろ創生”の実現に向けて

第1次新城市総合計画において「地域自治区制度」や「若者総合政策」、「女性議会」など先進的な施策を市民議論の中から形作り、市民自治社会の実現に向けて取り組んでいます。“しんしろ創生”を実現するために、これらの取り組みをさらに充実させ、若者や女性、高齢者など全ての人々が輝き活躍するとともに、暮らしにくさの解消を図ることで、住環境の不便などを理由とした望まぬ転出を減らします。

また、望む移動については最大限に尊重し、転出入のダイナミズムを生み出し、人の交流を促進することで、新城市と近隣地域全体の活性化を意識したまちづくりを進めます。

そして、「まちの創生」「ひとの創生」「しごとの創生」の好循環を確立し、それらを同時かつ一体的に取り組めます。



2

総合戦略の計画期間

総合戦略の期間は、2015年度（平成27年度）から2019年度（平成31年度）までの5年間とします。



3

総合戦略の基本目標

国と愛知県の基本目標を踏まえ、以下の4つの基本目標を定めさまざまな課題解決に向けて着実に取り組んでいきます。

“しんしる創生”の考え方

住みやすい・働きやすい・子育てしやすいと思える暮らし環境を整え、安心して心豊かに暮らすことができるまちをつくる

自ら主体的に考え、学ぶことで、地域を磨く“人材（財）”となり、新たな価値を創造し、豊かな地域社会を形成する

基本目標 1

希望が叶う、安心・安全で豊かなまちを創る

基本目標 2

結婚・出産・子育て環境を創る

基本目標 3

市内にしごとを創る

基本目標 4

市内へのひとの流れを創る

4

基本目標と戦略

基本目標1 希望が叶う、安心・安全で豊かなまちを創る

戦略	数値目標	基準値	目標値 (H31)
市民自治社会向上	「住民自治の活性化」の満足度	59.8% (H26)	65.0%
自立向上	「高齢者の自立支援や福祉対策」の満足度	59.9% (H26)	65.0%
安全・安心の暮らし向上			
環境首都向上			

基本目標2 結婚・出産・子育て環境を創る

戦略	数値目標	基準値	目標値 (H31)
結婚の希望実現サポート	合計特殊出生率	1.35(社人研推計) (H31)	1.59
安心・安全な妊娠・出産サポート			
子育ての負担軽減・安心サポート	出生数	289人(H26)	320人

基本目標3 市内にしごとを創る

戦略	数値目標	基準値	目標値 (H31)
企業誘致の推進	市内事業所数(工業)	162事業所 (H24工業統計調査)	175事業所
起業の促進	市内従業員数(工業)	6,683人 (H24工業統計調査)	7,400人
仕事の安定向上	市内企業への就業率 (市内高校卒の市内生徒)	40.5%(H25)	50.0%

基本目標4 市内へのひとの流れを創る

戦略	数値目標	基準値	目標値 (H31)
定住人口の流入促進	「暮らす場の整備」の満足度	53.2%(H26)	57.0%
定住人口の流出抑制	定住人口(国勢調査)	45,482人 (社人研推計)(H31)	45,680人
交流人口の流入促進	観光入込客数	1,929千人(H26)	3,000千人

基本目標 1 希望が叶う、安心・安全で豊かなまちを創る

戦略1 市民自治社会向上	
施策方針	主な事業
まちづくりの協働体制を整備します	若者が活躍できるまち実現事業など
広域連携・交流を進めます	広域行政事業など
地域内分権の担い手を組織します	地域プランニング事業など
国際交流活動を応援します	グローバル人材育成事業など
戦略2 自立向上	
施策方針	主な事業
女性が輝くまちをつくります	輝く女性創業支援事業など
公共交通網の整備と利用向上を進めます	公共バス運行事業
道路網の整備を進めます	橋梁長寿命化対策事業など
活気がある市街地をつくります	中心市街地活性化対策推進事業など
下水を処理し水環境を守ります	長寿命化計画策定事業など
生活環境を保全します	一般公害対策事業など
子どもの教育環境を整えます	共育推進事業など
戦略3 安全・安心の暮らし向上	
施策方針	主な事業
病院・診療所の体制を整えます	医師確保事業など
健康づくりを応援します	健康教育事業
地域内福祉・相互扶助活動を進めます	配食サービス配達空白地解消事業など
高齢者の生きがい対策を進めます	地域包括ケアシステム推進事業など
地震防災対策を進めます	庁舎建設事業など
災害対応能力を強化します	自主防災組織防災活動援助事業など
防犯活動を進めます	自主防犯事業
戦略4 環境首都向上	
施策方針	主な事業
循環型社会への取り組みを進めます	エコアクション推進事業など



基本目標2 結婚・出産・子育て環境を創る

戦略1	結婚の希望実現サポート	
	施策方針	主な事業
	出会いの場を創出します	結婚支援事業
戦略2	安心・安全な妊娠・出産サポート	
	施策方針	主な事業
	子どもを産む環境を整えます	すこやか子育て事業など
戦略3	子育ての負担軽減・安心サポート	
	施策方針	主な事業
	子どもを育てる環境を整えます	市子ども医療費助成事業など
	保育ニーズに対応する保育サービスを進めます	新城版こども園推進事業など



基本目標3 市内にしごとを創る

戦略1	企業誘致の推進	
	施策方針	主な事業
	企業誘致を進め、雇用を確保します	企業立地推進事業など
戦略2	起業の促進	
	施策方針	主な事業
	がんばる中小企業を応援します	創業支援補助事業など
戦略3	仕事の安定向上	
	施策方針	主な事業
	地域産業振興政策を進めます	地域産業総合振興施策推進事業など
	森林の保全・整備を進めます	市民参加の森づくり推進事業など
	林業生産活動を応援します	森林資源調査・研究事業など
	農業生産物の消費拡大を進めます	地産地消・食育普及活動事業
	農業生産活動を応援します	園芸施設団地造成事業・建設事業など



基本目標4 市内へのひとの流れを創る

戦略1 定住人口の流入促進	
施策方針	主な事業
活気がある市街地をつくります	【再掲】 中心市街地活性化対策推進事業など
良質な住宅の整備を推進します	宅地開発誘導事業(平井地区)など
移住・定住を進めます	空き家利活用事業など
戦略2 定住人口の流出抑制	
施策方針	主な事業
公共交通網の整備と利用向上を進めます	新城～名古屋間往復高速バス運行事業
戦略3 交流人口の流入促進	
施策方針	主な事業
情報の発信と共有を進めます	広報活動事業など
国際交流活動を応援します	【再掲】 グローバル人材育成事業など
地域資源を活かした観光戦略を進めます	観光プロモーション事業(シティプロモーション事業)など
観光施設を有効に活用します	桜淵公園再整備事業など
光ファイバネットワークを有効に活用します	Wi-Fi整備事業
魅力ある商店街づくりを応援します	商工業等活性化支援事業
地域の環境を学びます	ジオパーク構想推進事業



新城市 人口ビジョン および まち・ひと・しごと創生総合戦略 概要版

新城市 企画部 企画政策課
〒441-1392新城市字東入船6番地1
TEL : 0536-23-1111 (代表) FAX : 0536-23-2002



発行 新城市役所・編集 秘書広報課
〒441-1392 愛知県新城市字東入船6-1
TEL 0536-23-1111 FAX 0536-23-2002